

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査目的

○全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、

国・教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る。

②学校における個々の児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

③そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日 平成 29 年 4 月 18 日 (火)

(3) 調査内容

ア. 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語及び数学とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

(ウ) 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ. 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

2. 本校における結果の概要

(1) 学力に関する調査

国語 A：本校平均正答率は、大阪府平均を▲下回る 全国平均を ▲大きく下回る

国語 B：本校平均正答率は、大阪府平均を▲大きく下回る 全国平均を▲大きく下回る

算数 A：本校平均正答率は、大阪府平均を▲下回る 全国平均を ▲下回る

算数 B：本校平均正答率は、大阪府平均を▲大きく下回る 全国平均を ▲大きく下回る

国語 A

△漢字をよむ設問に関しては正答数 90%以上の問題もある。

▲話し合いや報告の内容や趣旨を捉える。(53.3% < 全国 69.9%)【話す・聞く】〈3・4〉

▲必要な情報を見つけて読む。記録や報告の文章などを読んで利用する。

(48.3% < 全国 74.4%)【読むこと】〈3・4〉

▲ことわざ・慣用句・漢字 (70.8% < 全国 80.8%)【言語】〈3・4〉

国語 B

9 問中 7 問が 10%以上の開きあり。

▲目的や意図に応じて、伝えたいことについて、的確に話すことができる。

(41.7% < 69.2%=全国)【話す・聞く】〈5・6〉

▲目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える。

(51.7% < 70.8%=全国)【書く能力】〈5・6〉

▲目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書く。

(18.3% < 33.0%=全国)【関・意】【書く能力】〈5・6〉

▲物語を読んで感想を伝えあい、自分の考えを広げたり深めたりする。

(13.3% < 28.0%=全国)【読む力】〈5・6〉

算数 A

15 問中 11 問が 10%以上の開きあり。

○計算問題に関しては、全国正答率を上回る問題がある。

(例) 123×52 (91.7% > 85.2%=全国)

▲商を分数で表す問題。(50.0% < 69.2%)【数量技能】〈5〉

▲任意単位による測定を理解している。(15.0% < 70.0%)【数量知・理】〈1・3〉

▲平行四辺形と三角形の底辺と面積の関係を理解している。

(41.7% < 50.9%=全国)【図形知・理】〈5〉

算数 B

11 問中 8 問が 10%以上の開きがある。

▲示された条件を基に、適切な式を立てることができる。

(61.7% < 76.0%=全国)【数学的な考え方】〈2〉

▲示された考えを解釈し、関係を図に表わすことができる。

(65.0% < 81.8%=全国)【数学的な考え方】〈2・5〉

▲二次元表の理解と表現の問題。(20.0% < 39.8%=全国)【数学的な考え方】〈4〉

▲日常生活の事象を数理的に捉え、数学的に処理する。

(28.3% < 40.4%=全国)【数学的な考え方】〈3・5〉

(2) 児童につけたい力

～最後まで粘り強く、あと1問を解く力～

- 漢字の読み (86.6%) は概ねできている。書き (58.3%) 訓読み、送り仮名のある漢字読み書き力をつける。
- 本文記述にそった基本的な読解力。
- 情報を読み取り、論理の展開を理解する力。
- 問題の内容 (何を問われて、何を答えるのか) を理解し、見通しをたてる力。
- 図などを使って問題を整理し、見通しをたてる力。
- 計算の意味、見通しをたてる力。
- 問題解決の論理を積み重ねて解く力。

(3) 学校におけるこれからの取り組み

【国語】

- 「国語の勉強が好き」になるための取り組み。
- 本文の内容を理解していく力をつける。(文章のつながり、全体の把握)
- 対話による意見・考えの交流で思考する練習。
- 目的・条件に応じて自分の意見や考えを書く練習。
- 毎日の漢字学習を丁寧に、着実に力をつけていく。

【算数】

- 計算の意味を理解した基本計算。
- 答えの見通しをたてる習慣づくり。
- 考えを積み重ねる学習。
- 複数式の問題を意識した学習。式に慣れる (式をたてる、式を解いていく)。
- 他教科とも関連付けて、資料の整理や活用の仕方の学習を積み重ねる。

(4) 学習や生活の状況についての児童質問紙調査

【生活のようす】

- 朝はきまった時間に起きているが、朝食は毎日摂れていない児童が 26.2% もいる。
- 就寝が不規則。
- テレビ・DVD・ゲームの時間が全国と比較して圧倒的に多い。
 - テレビ・DVD 1日当たり 3時間以上 (49.2% > 全国 33.2%)
 - ゲーム 1日当たり 2時間以上 (50.8% > 全国 31.1%)
- 家の人とテレビやゲームの時間のルールをあまり・全く決めていない。
(58.5% > 全国 41.5%)

【学習習慣】

- 自己評価が低く (35.4% > 全国 21.9%)、失敗を恐れる。(32.3% > 22.5% 全国)
- 学習や学級活動で、協力して何かをやり遂げることにとても喜びを感じている。
- 友達の話や意見を最後まで聞けない。

- 発表が苦手。(56.9%>47.7%全国)
- 宿題をあまりしていない・全くしていない。(6.1%>全国3.1%)
- 学校は楽しいは全国よりやや低いが、学校で友達に会うのは楽しいが全国を上回る。
- 学校のきまりを守る。(上位層 23.1%<46.4%) この上位層の違い。
- 先生は分かるまで教えてくれる。

【教科】

- 国語の勉強は好き。(52.3%<60.5%全国) 上位層の差 11.7%
- 国語がわかる。(63.1%<74.3%)
- 算数が好き。(46.2%<全国65.9%)
- 算数がわかる。(69.2%<全国80.6%)
- 解答する時間が余った。国語B (41.5% > 32.6%) 算数B (36.9% > 27.7%)

その他

- 「グループ活動や、発表する活動が少ない」と感じている。
- 「いじめは、どんな理由であってもいけない」が89.2%。(全国96.1%)